報告資料１

自動運転実証調査事業について
（小牧市地域公共交通会議での書面協議結果）

１　協議事項

自動運転実証調査事業について

２　協議方法

小牧市地域公共交通会議の各委員に対し、書面により協議内容を通知し、書面協議書の提出を依頼した。

３　協議期間

令和５年 12 月 22 日（金）から令和６年１月５日（金）まで

４　協議結果

意見あり　６名

意見なし　16 名

５　書面協議での委員意見とそれに対する市の考え方

別紙参照

別紙

報告事項(1)自動運転実証調査事業について　書面協議での委員意見とそれに対する市の考え方

委員名	委員意見	委員意見に対する市の考え方
川本委員 （名古屋鉄道㈱ 地域活性化推進本部地域連携部長）	前回の公共交通会議でもいくつか意見があったかと思いますが、バス事業者、タクシー事業者との調整協議が調っているならば問題ありません。	令和５年 10 月 13 日に開催した会議では、名鉄バス㈱大野委員、愛知県尾張建設事務所吉金委員、国土交通省中部運輸局本田委員（宮川委員代理）、愛知県タクシー協会安藤委員、小柳委員から、他の交通への影響等についてご意見をいただきました。その後、個別に協議を行い、調整を図りました。
大野委員 （名鉄バス㈱　運輸本部首席交通企画官）	１．令和５年１０月１３日開催された小牧市地域公共交通会議で、本件について各委員より運行経路上における緊急車両、一般車両及び路線バスへの影響について指摘や意見が出されたが、それに対する説明がなされていない。 ２．弊社の既設停留所と本事業の停留所の併設について、事前説明では２か所の併設を要請され調整を図っていたが、協議資料では説明もなく４か所に増えている。 ３．本事業の運行ダイヤが、既存の路線バスの運行に影響を与える可能性が大きいと思われる。 ４．弊社としては、現段階では、周辺道路の交通環境の変化による安全面の懸念が拭い去れず、事業者間調整が必要と考える。	1　令和５年 10 月 13 日に開催した会議では、名鉄バス㈱大野委員、愛知県尾張建設事務所吉金委員、国土交通省中部運輸局本田委員（宮川委員代理）、愛知県タクシー協会安藤委員、小柳委員から、他の交通への影響等についてご意見をいただきました。その後に、個別に協議を行い、下記のとおり調整を図りました。 緊急車両の走行に対する運行については、令和６年１月 11 日に小牧市消防本部と協議を行い、一般車の対応と同様に、運転手が手動操作により車両を道路の左側に寄せて停車させるよう調整を図りました。また、運行事業者である BOLDLY 株式会社に対して、小牧市民病院が近く緊急車両の通行の多い地域であるため、協議内容を運転手に周知するよう伝えました。 一般車両への影響については、愛知県警察本部（小牧警察署を含む）、愛知県尾張建設事務所、小牧市建設部道路課と協議を行い、渋滞等の対策については、平日の朝や夕方のラッシュ時を除いた時間帯に運行するとともに、自動運転車両の後続車が追い越しできるよう、運行区間内に停止箇所の増設（バス停の増設）を行いました。また、運行ルート上に自動運転の公道実証調査中である旨を表示した看板を設置し、運行ルートを通行する方や周辺住民への周知啓発を行っています。なお、小牧山南麓ガイダンスエリアなど信号機のない右折箇所への警備員の配置など、安全対策を行いました。 路線バスへの影響については、名鉄バス㈱、あおい交通㈱、豊山町産業建設部（とよやまタウンバスの運行管理者）と、それぞれ個別に協議を行った後、それぞれの運行事業者が運行時におけるルールなどを共有するため、令和６年１月 31 日に合同の会議を行いました。 2　バス停の設置については、渋滞緩和や利用者の利便性などの観点からより多く設置できるよう、様々な場所での設置検討を進めてきました。令和５年 12 月 27 日に名鉄バス㈱にご説明させていただいたとおり、中央図書館南側においては、自動運転車両の後続車が追い越しできるよう、バス停車帯のある箇所とし、名鉄バスのバス停と併設することとしました。また、西源寺・西林寺前においては、シェルターやベンチなどのバス待ち環境を整備した箇所とし、こまき巡回バス「こまくる」及び名鉄バスのバス停と併設することとしました。 3　本事業の運行ルートが、既存の路線バスの運行ルートと重なる路線は、名鉄バス㈱が運行する近距離高速バス名古屋・桃花台線、岩倉線（小牧市役所前経由、小牧市民病院経由、桜井経由）、春日井市内線やこまき巡回バス「こまくる」、ピーチバス、とよやまタウンバスがありますが、全ての路線とダイヤを調整して運行することは困難でありますので、それぞれの運行事業者が運行時におけるルールなどを共有するため、令和６年１月 31 日に合同の会議を行い、路線バスとバス停で運行が重なった場合には、路線バスの運行を優先するようにしました。 4　一般車両や路線バスへの影響については、上記１のとおり、関係機関等と安全対策などについて協議を行いました。

宮川委員 （国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官）	【お願い事項】 自動運転を実施する道路において、交通渋滞が生じる可能性が高くなるかと存じます。道路状況について混雑するおそれがある旨を周知等して頂きますようご配慮のほどお願いします。	自動運転実証調査の内容について、市の広報誌やホームページ、愛知県が運用するサイト等を活用した広報を行うとともに、運行ルート周辺住民をはじめとした関係機関への説明を行いました。また、運行ルート上に自動運転の公道実証調査中である旨を表示した看板を設置し、運行ルートを通行する方や周辺住民への周知啓発を行っています。
吉金委員 （愛知県尾張建設事務所維持管理課長）	第２回交通会議開催時に申し上げたが、今回資料にバス運行に関する安全対策等の記述が見当たらない。以下の２点について、確認したい。 １．一般交通利用者への周知方法 ・公報掲載やＨＰでの周知は当然と考えるが、運行時の周知が必要 ・後方警戒車の導入、沿道への看板設置、プラカードの掲出、交通誘導員配置　等々 ２．自動運転時に発生する後方の道路混雑の回避対策 ・名鉄バス等路線バスの定時運行確保対策 ・緊急車両への進路確保（市民病院への救急搬送ルート確保）	令和５年 10 月 13 日に開催した会議では、名鉄バス㈱大野委員、愛知県尾張建設事務所吉金委員、国土交通省中部運輸局本田委員（宮川委員代理）、愛知県タクシー協会安藤委員、小柳委員から、他の交通への影響等についてご意見をいただきました。その後に、個別に協議を行い、下記のとおり調整を図りました。 １　自動運転実証調査の内容について、市の広報誌やホームページ、愛知県が運用するサイト等を活用した広報を行うとともに、運行ルート周辺住民をはじめとした関係機関への説明を行いました。また、運行ルート上に自動運転の公道実証調査中である旨を表示した看板を設置し、運行ルートを通行する方や周辺住民への周知啓発を行っています。なお、小牧山南麓ガイダンスエリアなど信号機のない右折箇所については、警備員を配置するなど、安全対策を行いました。 ２　渋滞等の対策については、愛知県警察本部（小牧警察署を含む）、愛知県尾張建設事務所、小牧市建設部道路課と協議を行い、平日の朝や夕方のラッシュ時を除いた時間帯に運行するとともに、自動運転車両の後続車が追い越しできるよう、運行区間内に停止箇所の増設（バス停の増設）を行いました。 緊急車両の走行に対する運行については、令和６年１月 11 日に小牧市消防本部と協議を行い、一般車の対応と同様に、運転手が手動操作により車両を道路の左側に寄せて停車させるよう調整を図りました。また、運行事業者である BOLDLY 株式会社に対して、市民病院が近く緊急車両の通行の多い地域であるため、協議内容を運転手に周知するよう伝えました。
稲垣委員 （愛知県小牧警察署 交通課長）	対象事業の使用車両は低速走行するところ、使用道路は公共交通機関が通行するなど交通量が比較的多い環境にあるため、渋滞等に配慮した対策をとられたい。 また、発進時や右折時などは、周囲の通行者双方の安全確保から、警備員等による交通誘導も検討されたい。	渋滞等の対策については、平日の朝や夕方のラッシュ時を除いた時間帯に運行するとともに、自動運転車両の後続車が追い越しできるよう、運行区間内に停止箇所の増設（バス停の増設）を行いました。また、運行ルート上に自動運転の公道実証調査中である旨を表示した看板を設置し、運行ルートを通行する方や周辺住民への周知啓発を行っています。 また、小牧山南麓ガイダンスエリアなど信号機のない右折箇所については、警備員を配置するなど、安全対策を行っています。
小柳委員 （小牧市公共交通功労者）	実証調査は課題を洗い出すためのものであり、次への前進に結び付くことを期待します。	自動運転の実証調査については、来年度も引き続き今年度と同様のルートの運行をより長期間にわたって実施することで、交通に関わる調査検証をさらに深めることはもとより、本市中心市街地における観光振興やまちづくりへの有効性などに関しても調査検証が可能となるものと考えています。